生産性向上人材育成支援センターのご案内

可能性がひろがる職場へ

人手不足の深刻化や技術革新の進展の中で、企業の皆様が事業展開を図っていくためには、従業員を育成することにより、企業が生み出す付加価値（労働生産性）を高めていくことが必要となっています。

生産性向上人材育成支援センターは、従業員に対する多様な職業訓練の実施などを通じて、企業の皆様の生産性向上を支援しています。

＼らしく、はたらく、ともに／

独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

（生産性センター紹介ページへ）

生産性向上人材育成支援センターが
企業の人材育成をサポートします!!

高齢・障害・求職者雇用支援機構は「誰もが職業をとおして社会参加できる共生社会」を目指し、高齢者や障害者、求職者等の方々に対する様々な雇用支援施策を国に代わって実施する厚生労働省所管の独立行政法人です。

当機構では、全国の公共職業能力開発施設（ポリテクセンター･ポリテクカレッジ等）に「生産性向上人材育成支援センター」（生産性センター）を設置し、企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで、企業の人材育成を総合的にサポートします。

人材育成に関する相談
センター担当者が企業を訪問し､人材育成に関する課題や方策を整理します

人材育成プランの提案
企業の課題に合わせて最適な人材育成プランをご提案します

訓練の実施
設定した人材育成プランをもとに、訓練等を実施して､企業の人材育成を支援します

在職者訓練（能力開発セミナー）

“ものづくり分野”における、「技能・技術の向上」や「新たな製品づくり」といった生産現場の課題を解決するための実習を中心とした職業訓練です。

地域のニーズを踏まえて訓練コースを設定して実施するほか、個別企業等のオーダーに応じて訓練を実施します。

（１）訓練実施場所
ポリテクセンター福井

（２）訓練時間数
12時間～24時間

（３）受講料(１人あたり)
10,000円から20,000円程度

（４）主な訓練分野

機械系
機械加工
機械設計・製図
工程管理

電気・電子系
シーケンス（PLC）
制御設計
電気設備保全

居住系
空気調和換気設備給
排水衛生設備工事
建築設備設計

▲ マシニングセンタ
プログラミング技術

▲ 設計に活かす３次元CAD
ソリッドモデリング技術

▲ PLCプログラミング技術

▲ 冷媒配管の施工と空調機器
据付け技術

「ハロートレーニング－急がば学べ－」とは、
新たなスキルアップにチャレンジするすべてのみなさんを
サポートする公的職業訓練の愛称とキャッチフレーズです。

ハロートレーニング
急がば学べ

「従業員が身に付けるべき能力についての整理にも取り組みたい」といった場合には…

機構が業種ごとに整備している「職業能力の体系」モデルデータを活用し、各企業の仕事・作業に必要な知識や技能・技術の見える化等をサポートします。

information

指導員の派遣/施設設備の貸出

「研修したいが講師がいない」「研修したいが機械を止められない」「研修場所がない」といった企業の要望に応じて、ポリテクセンターの職業訓練指導員（テクノインストラクター）の派遣や、ポリテクセンターの施設・設備（実習場や訓練用機器等）の貸出を行なっています。

人材開発支援助成金

生産性センターが実施する職業訓練を従業員に受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金を利用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。

助成金の利用に当たっては、訓練対象者と訓練内容の関連が認められること、10時間以上の訓練であることなど一定の条件がありますので、詳しくは各都道府県の労働局にお問い合わせいただくか、厚生労働省ホームページをご確認ください。

（厚生労働省HPへ）

生産性向上支援訓練

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進に資する人材の育成を支援するなど、中小企業等が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。

個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや、地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

（１）訓練実施場所
企業の自社会議室 など

（２）訓練時間数
6時間～30時間
（「IT業務改善」は、4時間～30時間）

（３）受講料（１人あたり・税込）
3,300円～6,600円
（「IT業務改善」は、2,200円～4,400円）

（４）主な訓練分野・コース

生産・業務プロセスの改善
工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

横断的課題
既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳までの就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

売上げ増加
マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

IT業務改善
生産性を向上させるための手段としてITを利活用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識・手法の習得を主な目的としています。

・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
・ＲＰＡを活用して業務を自動化したい。
・テレワークを導入し業務を効率化したい。

・従業員の仕事の効率化を促進したい。
・リスクを低減させる方法を学びたい。
・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

・顧客満足度の向上を図りたい。
・消費者の動向を営業に活用したい。
・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

・データ集計の作業を効率化したい。
・マクロを使って定型業務を自動化したい。
・集客につながるHPを作成したい。

【生産・業務プロセスの改善】
・生産現場の問題解決
・ＲＰＡ活用
・テレワークを活用した業務効率化　など

【横断的課題】
・組織力強化のための管理
・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
・効果的なOJTを実施するための指導法　など

【売上げ増加】
・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
・提案型営業実践
・オンライン営業技術　など

【ＩＴ業務改善】
・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
・集客につなげるホームページ作成
・テレワークに対応したセキュリティ対策　など

「まずは試しに１～２名の従業員に訓練を受けさせたい」といった場合には…
広く受講者を募集して実施する公開型の訓練も実施しています。他社の従業員と一緒にグループワークなどを行うことで、自社の強みや課題の気づきにつながります。

人材のマッチング

ポリテクセンターでは、離職者向け職業訓練を実施しており、受講者の求職情報を企業に提供し人材を採用したい企業とのマッチングを支援しています。

また、ポリテクカレッジでは、高校卒業者等を対象に、ものづくりに関する高度な実践技能者の養成を行っています。

DX人材育成の支援

生産性センターでは、「中小企業等ＤＸ人材育成支援コーナー」を設置し、企業の皆様からの「デジタル対応に係る人材育成の悩み」に関するご相談を受け付けています。

また、在職者訓練・生産性向上支援訓練ではＤＸに対応した訓練コースを整備し、中小企業・事業主団体等のＤＸ人材の育成を支援しています。

生産性訓練利用者の声

ミツカワ株式会社　様　<実施時期：令和５年７月>

●所在地　　：越前市
●利用コース：生産現場の問題解決
●事業内容　：ニットテキスタイルの製造販売

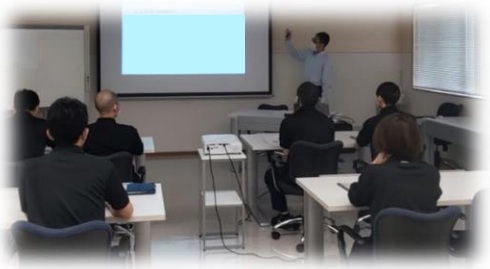
【事業主の声】

<訓練を利用したきっかけ>
　ポリテクセンター福井の紹介により、オーダーコースの社内での開催を検討しました。
　オープンコースでは出席社員が個別で受講することもあり、受講内容を共有するにしても参加していない社員に伝えることに抵抗がありました。その点を解消するためにオーダーコースにて「生産現場の問題解決」という比較的身近な題材から現場を見直し、社員間のコミュニケーションを充実させつつ、品質の向上を目指す狙いがありました。

＜訓練利用によって得られた成果や影響＞
　受講者のひとりに行動変容がみられ、コミュニケーションが充実した様子がうかがえました。
推測ではありますが、間接的効果の一つとして、自社検査での流出防止ができ、前年度との比較で買取C反の削減ができました。

【受講者の声】

＜訓練を受講した感想＞
■現場の根幹となるコミュニケーションの話で自分は最低限出来ているつもりでしたが、「きくこと」、特に「傾聴」という動作を取り入れてより相手との信頼関係を築いて相手の目線になって作業をすれば現場の業務ももっと円滑になると思うので実践していきます。
■改善活動に正直なところ少し苦手意識がありましたが、
・「問題」と「課題」を分けて考える
・必ずしも解決策を提示するところまで一人でやらなくてもよい
・「ムダ作業」を探す前に「価値作業」はどれかを意識する
など、明確な実践のヒントをたくさん頂いたと思います。


【訓練風景】

小浜海産物株式会社　様　<実施時期：令和５年８月>

●所在地　　：小浜市
●利用コース：職場のリーダーに求められる統率力の向上
●事業内容　：水産物の加工、養殖事業、水産物加工品の卸売り等

【社屋】

【事業主の声】

<訓練を利用したきっかけ>
　魚市場も経営していることから、担当の商品による独立採算、個人商店のような体制が全社的に根付いており、組織的な業務運営や組織をまとめるリーダーの意図的な育成が十分ではない状況でした。
　そのような中、ポリテクセンターからリーダーには不可欠なコミュニケーション力を向上させるための全社横断的な生産性向上支援訓練の案内をいただき、綿密な打ち合わせにより、大変効果的なカリキュラムをつくっていただきました。

＜訓練利用によって得られた成果や影響＞
　講師の訓練に引き込む指導方法が素晴らしく、受講者からは「大変よかった」との感想が多く聞かれ、よりよいコミュニケーションが広く醸成される基礎となった感があります。
　今後、他の層でも訓練を実施し、人材育成を一層図っていこうと考えています。

【代表取締役社長　西野　弘純様】

【受講者の声】

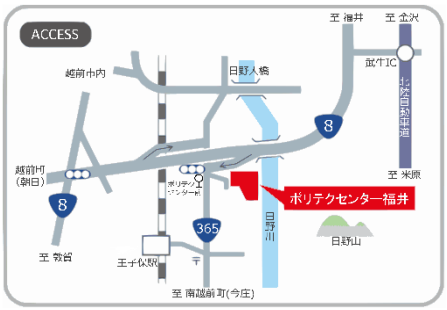
<訓練を受講した感想>
　私は営業を担当していますが、これまでは部下との会話においてリーダーとしてコミュニケーション力の向上を意識していませんでした。
　この訓練を活かし、今後は部下とのコミュニケーションをより一層深め、リーダーとしての自覚をもって業務に当たりたいと思います。

福井職業能力開発促進センター
（ポリテクセンター福井）

〒９１５－０８５３
福井県越前市行松町２５－１０

○生産性向上支援訓練に関するお問い合わせ
TEL：**0778-23-1031**

○在職者訓練、指導員派遣・設備貸出に関するお問い合わせ
TEL：**0778-23-1011**



（2025.06）